



2021年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月14日

上場会社名 コナカ

上場取引所 東

コード番号 7494 URL <https://www.konaka.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長CEOグループ代表 (氏名) 湖中 謙介

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員CFO管理本部長 (氏名) 土屋 繁之

TEL 045-825-7700

四半期報告書提出予定日 2021年5月14日

配当支払開始予定日

2021年6月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第2四半期の連結業績(2020年10月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	33,644	11.3	△2,756	—	△2,524	—	△2,794	—
2020年9月期第2四半期	30,240	△14.9	86	△95.3	△1,584	—	△3,057	—

(注)包括利益 2021年9月期第2四半期 △2,973百万円 (—%) 2020年9月期第2四半期 △2,550百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第2四半期	△95.99	—
2020年9月期第2四半期	△105.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第2四半期	68,344	29,040	38.6
2020年9月期	69,486	32,014	41.2

(参考)自己資本 2021年9月期第2四半期 26,379百万円 2020年9月期 28,612百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	10.00	—	0.00	10.00
2021年9月期	—	10.00	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	79,147	65.4	539	—	831	—	136	—	4.67

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期2Q	31,146,685 株	2020年9月期	31,146,685 株
② 期末自己株式数	2021年9月期2Q	2,030,418 株	2020年9月期	2,030,169 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年9月期2Q	29,116,371 株	2020年9月期2Q	29,116,781 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述について)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提にもついでおり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会資料について)

当社は、2021年5月20日(木)に機関投資家・アナリスト向け決算説明会をオンライン形式で開催する予定です。この決算説明会で使用した資料等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

新型コロナウイルス感染症の再拡大により、1月に11都府県を対象として緊急事態宣言が発出され、首都圏については3月21日まで延長されるなど、経済活動が全般的に停滞しました。こうした状況は未だに収束の見通しが立たず、個人消費等への影響が長期化することも想定されます。

このような経営環境のもと、主力であるファッション事業におきましては、連結子会社である株式会社サマンサタバサジャパンリミテッドと「SUIT SELECT」とが共同開発し、1月に発売した『究極のレディーススーツ』や『無敵バッグ』がご好評をいただき、女子大学生を中心とするレディース需要の開拓に繋がりました。また、「AI SPEED ORDER」によるパターンオーダーの受注も堅調に推移し、顧客層を拡大しつつあるカスタムオーダー業態の「DIFFERENCE」と合わせて、オーダースーツに対する需要の高まりを着実に捉えることができました。しかしながら、来店客数の低迷を客単価の確保で補うまでには至らず、この結果、売上高は、株式会社サマンサタバサジャパンリミテッドを含め、323億54百万円（前年同期比12.1%増）となりました。

フードサービス事業につきましては、「かつや」「からやま」が持ち帰り需要に下支えはされたものの、売上高は8億91百万円（前年同期比8.9%減）となりました。

教育事業につきましては、「Kids Duo」「Kids Duo International」とともに計画通り推移し、売上高は3億98百万円（前年同期比1.0%増）となりました。

グループの店舗数につきましては、サマンサタバサグループで6店舗、SUIT SELECTを5店舗、DIFFERENCEを5店舗、合計16店舗を新規に出店いたしました。一方、期間満了や移転等により29店舗を退店し、790店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は336億44百万円（前年同期比11.3%増）、営業損失は27億56百万円（前年同期は営業利益86百万円）、経常損失は25億24百万円（前年同期は経常損失15億84百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は27億94百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失30億57百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は303億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億61百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が11億42百万円増加したものの、商品及び製品が9億81百万円、流動資産のその他に含まれる未収入金が4億89百万円減少したことによるものであります。固定資産は379億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億81百万円減少いたしました。これは主に減損損失の計上等により有形固定資産が5億64百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は683億44百万円となり、前連結会計年度末と比べ11億42百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は207億66百万円となり、前連結会計年度末と比べ34億98百万円減少いたしました。これは主に電子記録債務が12億93百万円増加したものの、短期借入金が36億60百万円、1年内返済予定の長期借入金が30億32百万円減少したことによるものであります。固定負債は185億36百万円となり、前連結会計年度末と比べ53億29百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が52億86百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は393億3百万円となり、前連結会計年度末と比べ18億30百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は290億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億73百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失27億94百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は38.6%（前連結会計年度末は41.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料の発表日現在におきましては、2020年11月19日に発表しました連結業績予想を変更しておりません。

詳細につきましては、本日公表の「2021年9月期第2四半期業績予想と実績値との差異及び営業外収益・特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、当社グループは事業の性質上、売上高に季節的変動があり、第1四半期、第2四半期及び第3四半期に比し第4四半期の売上高の割合が低くなります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,126	5,840
受取手形及び売掛金	2,519	3,661
商品及び製品	20,106	19,125
仕掛品	2	1
原材料及び貯蔵品	452	370
その他	1,830	1,376
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	31,034	30,372
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,060	5,608
土地	10,705	10,691
その他(純額)	712	613
有形固定資産合計	17,478	16,914
無形固定資産		
商標権	1,393	1,315
その他	455	457
無形固定資産合計	1,849	1,773
投資その他の資産		
投資有価証券	8,543	9,288
敷金及び保証金	8,987	8,520
退職給付に係る資産	232	302
その他	1,404	1,204
貸倒引当金	△43	△31
投資その他の資産合計	19,124	19,283
固定資産合計	38,452	37,971
資産合計	69,486	68,344
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,824	2,327
電子記録債務	1,773	3,067
短期借入金	12,239	8,579
1年内返済予定の長期借入金	3,830	798
未払法人税等	368	470
賞与引当金	494	371
その他	3,733	5,151
流動負債合計	24,265	20,766
固定負債		
長期借入金	7,848	13,135
退職給付に係る負債	658	605
役員退職慰労引当金	26	28
ポイント引当金	708	613
その他	3,964	4,153
固定負債合計	13,207	18,536
負債合計	37,472	39,303

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,305	5,305
資本剰余金	13,253	13,253
利益剰余金	8,578	5,783
自己株式	△3,342	△3,342
株主資本合計	23,795	21,000
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,820	5,327
為替換算調整勘定	63	114
退職給付に係る調整累計額	△66	△63
その他の包括利益累計額合計	4,817	5,379
非支配株主持分	3,401	2,661
純資産合計	32,014	29,040
負債純資産合計	69,486	68,344

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
売上高	30,240	33,644
売上原価	14,368	15,136
売上総利益	15,871	18,507
販売費及び一般管理費	15,784	21,264
営業利益又は営業損失(△)	86	△2,756
営業外収益		
受取利息	8	9
受取配当金	41	44
不動産賃貸料	254	233
雇用調整助成金	—	280
その他	83	91
営業外収益合計	387	659
営業外費用		
支払利息	29	75
持分法による投資損失	1,877	—
不動産賃貸費用	72	29
アレンジメントフィー	63	255
その他	15	67
営業外費用合計	2,059	427
経常損失(△)	△1,584	△2,524
特別利益		
固定資産売却益	63	0
特別利益合計	63	0
特別損失		
固定資産除却損	22	83
減損損失	1,218	808
その他	181	30
特別損失合計	1,422	922
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,943	△3,446
法人税、住民税及び事業税	104	140
法人税等調整額	57	△0
法人税等合計	161	140
四半期純損失(△)	△3,105	△3,586
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△47	△791
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,057	△2,794

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
四半期純損失(△)	△3,105	△3,586
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	588	521
為替換算調整勘定	△14	88
退職給付に係る調整額	△9	3
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	—
その他の包括利益合計	554	612
四半期包括利益	△2,550	△2,973
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,504	△2,232
非支配株主に係る四半期包括利益	△46	△740

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△2,943	△3,446
減価償却費	598	690
減損損失	1,218	808
デリバティブ評価損益 (△は益)	△22	△1
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△1
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△8	△11
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△154	2
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△251	△95
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△31	△122
長期貸付金の家賃相殺額	84	74
敷金及び保証金の家賃相殺額	1	3
固定資産売却損益 (△は益)	△63	△0
固定資産除却損	22	83
受取利息及び受取配当金	△49	△54
支払利息	29	75
為替差損益 (△は益)	△5	△6
持分法による投資損益 (△は益)	1,877	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△438	△1,137
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△432	1,092
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,922	1,768
未払費用の増減額 (△は減少)	97	753
未払消費税等の増減額 (△は減少)	130	365
その他	235	594
小計	1,818	1,434
利息及び配当金の受取額	41	46
利息の支払額	△26	△70
法人税等の支払額	△243	△180
法人税等の還付額	48	78
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,638	1,308
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△488	△496
有形固定資産の売却による収入	102	6
有形固定資産の除却による支出	△130	△79
無形固定資産の取得による支出	△64	△168
敷金及び保証金の差入による支出	△166	△55
敷金及び保証金の回収による収入	201	586
貸付金の回収による収入	2	19
その他	△27	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△572	△186
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	250	△4,460
長期借入れによる収入	5,000	9,523
長期借入金の返済による支出	△5,532	△6,469
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△290	△1
非支配株主への配当金の支払額	△9	△4
その他	52	△18
財務活動によるキャッシュ・フロー	△530	△1,430
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	22
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	536	△285
現金及び現金同等物の期首残高	8,537	6,121
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	65	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,139	5,835

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積りの不確実性について)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)において、新型コロナウイルス感染症による影響は、当連結会計年度中に概ね正常化するものと仮定しておりましたが、コロナウイルス新規感染者は増加傾向が続いており、特定地域のまん延防止等重点措置や緊急事態宣言の発出など、その影響は長期化しており、翌連結会計年度まで続くとの仮定に変更し、その仮定に基づき、固定資産の減損会計、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

(財務制限条項)

1. 当社は、借入金6,800百万円について、シンジケートローン契約を締結しておりますが、当該契約には財務制限条項がついており、当該条項は以下のとおりであります。

- (1) 2020年9月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における単体又は連結の貸借対照表に記載される純資産金額を、2019年9月期の事業年度末日の純資産金額又は直前の事業年度末日の純資産金額のうち、いずれか高い金額の75%に相当する金額以上に維持すること。
- (2) 2020年9月期末日及び以降の各事業年度末日における単体又は連結の損益計算書に記載される経常損益を2期連続して損失としないこと。

なお、前連結会計年度末において、当社は上記(1)の財務制限条項に抵触しておりますが、借入先の金融機関からは、期限の利益の喪失に係る権利行使をしない旨の同意を得ております。

2. 当社の連結子会社である(株)サマンサタバサジャパンリミテッドの借入金8,903百万円については、シンジケートローン契約を締結しておりますが、当該契約には財務制限条項がついており、当該条項は以下のとおりであります。

- (1) 2022年2月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における単体又は連結の貸借対照表に記載される純資産金額を、2021年2月期の事業年度末日の純資産金額又は直前の事業年度末日の純資産金額のうち、いずれか高い金額の75%に相当する金額以上に維持すること。
- (2) 2021年2月期末日及び以降の各事業年度末日における単体又は連結の損益計算書に記載される経常損益を2期連続して損失としないこと。
- (3) 借入人は、株式会社コナカ(所在:神奈川県横浜市戸塚区品濃町517番地2)をして、借入人を株式会社コナカの連結子会社として維持せしめること。
- (4) 借入人は、全貸付人及びエージェントの事前承諾なく、借入人を債務者とし、株式会社コナカを債権者とする2020年10月15日付の8億円の借入金の弁済を行わないこと。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。